

保育園自己評価表

2018年度

園名 まあむキッズ相模大野北口

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの気持ちを受容し、寄り添い、子どもの気持ちをくみ取ることの大切さを職員の共通意識として保育に取り組んだ ・異年齢交流活動と年齢別活動をバランスよく取り入れ、子ども同士の育ち合う力を大切に保育計画を立てていった ・子どもの育ちを受け止め、より良い保育計画を作成し実践できるようにしていった。特にどの年齢においても、子どもが「主体性」を持った体験ができるよう配慮し、常に振り返りをおこないながら次の活動計画につなげていった ・子どもたちが自由に発言できるような雰囲気作りを心がけ、子どもが発言した言葉と表情に丁寧に受け答えをしていった。思ったことを発言したり、人の意見を聞く経験を通して、様々な考えがあることを知り、育ち合う姿が見られた ・乳児保育では一人ひとりの子どもの生活リズムに合わせてゆったりとした保育をおこなった。SIDSに関して、睡眠チェック表を活用し、注意を払うことを全職員で共通認識とした ・さつまいも掘り、野菜作りなどでの収穫体験や、オタマジャクシやカブトムシの飼育、毎日の戸外散歩など、四季の自然や身近な動植物に親しむ経験を大切にしたい ・その時々の子どもの姿を把握し、環境上制約もあるなかできる限りやりたいことが実現できるよう工夫した 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の仕事や役割を明確にし、互いに声を掛け合い連携を図り、円滑な保育ができるよう心がけた ・リーダー制を取ることで、一人ひとりの職員が自分の役割に責任を持ち対応することができた ・職員の得意分野・不得意分野をお互いに認識し、克服や補完し合うよう努めていった ・事故・けがのないように互いに声を掛け合い保育環境を整えた。また、避難訓練・不審者対応・避難器具の使い方や備品の確認等、安全対策について意識を共有した。引き続き全職員の危機管理意識の向上に努める ・安心して研修参加・年休取得ができるよう、担当枠を超えて臨機応変な職員配置をおこない保育に臨んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小学校、幼稚園、保育園と連携会議を定期的におこない、情報交換や職員研修につなげた。小学生の職場体験の受け入れもおこなった。年長児は小学校の行事に参加する機会が増え、期待をもって就学に向かいこができた ・ハロウィン訪問では、隣の高齢者住宅と連携し高齢者の方々と交流した。また、買物体験・ピザ作り体験では働く地域の方々との交流、学びの体験を楽しむ機会を取り入れることができた ・子育て広場では、音あそび・英語レッスンへの参加を呼びかけ、多くの親子が参加し園の子どもたちとも交流を楽しむことができた ・10月のさがみはら保育フェスを企画し、多くの保育園・近隣住民に参加していただいた。小規模認可園・認定保育室の説明会もおこない、保育園を必要としている方々へ利便性を図った

この評価のつけ方:

施設長・主任による各職員への聞き取り